

えどばくふ 江戸幕府の成立 ①

学習日 月 日

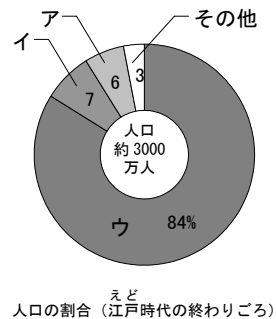
年 組 番 名前

1 江戸幕府の成立について、次のことがらを調べてまとめましょう。

【身分制度】

○ 江戸幕府は、武士（士）が農民（農）、町人（工・商）などの人々を支配する身分制度をつくり上げました。

〔問1〕右の円グラフのア・イ・ウに、武士・農民・町人のどれかをかきなさい。（その他は、公家・僧・神官、農民・町人とは別の身分とされた人など）



ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

【大名のとりしまり】

○ 江戸幕府は、大名を親藩、譜代、外様に区別し、幕府にとって都合のよい地域に配置しました。

〔問2〕親藩、譜代、外様とはどのような大名か、かきましよう。

・親藩	
・譜代	
・外様	

〔問3〕幕府にとって都合がよいように、どのような地域に配置したのですか。

・親藩、譜代	
・外様	

○「武家諸法度」は、大名が守らなければならないきまりでした。

- 武家諸法度**

家康が、秀忠の名で一六一五年に公布した。家光はこの武家諸法度を修正して二一か条にした。

 - 一 諸大名は、学問と武芸をみかくことにつとめなければならない。
 - 一 おおぜいで酒を飲んだり遊んだりしてはならない。
 - 一 法令にそむいた者を国にかくしてはならない。
 - 一 自分の領地に他國の人を住まわせてはならない。
 - 一 城を修理するときでも届けなければならない。新築することはかく禁止する。
 - 一 とんりの國で何か変わったことをしようと者がいたら届けなければならない。
 - 一 諸大名は、幕府の許可がないのにかつてに結婚のやくそくをしてはならない。
 - 一 参勤交代のとき、決められた以上の家来をつれてきてはならない。
 - 一 服そうやかざりものは、身分の上下のちがいをまぢがえないようにすること。
 - 一 身分の低い者がかつてにかつに乗ってはならない。
 - 一 武士たちは、けんやくにつとめなければならない。
 - 一 諸大名は能力のある者を用いてよい政治を行わなくてはならない。

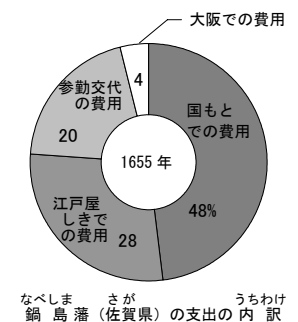
〔問4〕「武家諸法度」を読んで感じたことをかきましよう。

○参勤交代について、次の問いに答えなさい。

〔問5〕参勤交代とはどのような制度ですか。

〔問6〕「入り鉄砲に出女」ということばがありますが、どういう意味ですか。

〔問7〕参勤交代が、幕府にとって好都合だったのはどうしてですか。「入り鉄砲に出女」のことばや、右のグラフなどをもとにかきましよう。



えどばくふ
江戸幕府の成立 ②

学習日 月 日

年 組 番 名前

【農民のとりしまり】

○「慶安の御触書」で農民のきまりを決めて、生活をきびしく制限しました。

慶安の御触書

幕府から出されたきまりや、地頭(領主)・代官のいつつけを正しく守ること。また、名主や組頭を親のように考えて、そのいつつけを守ったり、相談をしたりしなければならぬ。
田畑の耕作に精出し、苗を植える準備も苗の植え方も念を入れて行い、また田畑に草がはえないように気をつけなければならぬ。たびたび草をとったりすれば、作物はたくさんとれるものがある。
朝は早く起きて車をかる。昼は田畑の耕作にはげみ、晩になわをなったり、たわらをあんたりするというように、一日中、気をつけて働かなければいけない。
酒や米を店から買って飲むようなことをしてはいけない。妻や子についても同じである。
屋敷のまわりに竹や木を植え、下葉なりとも取り、まきを店から買ったりしないようにしなければならない。
百姓は、いつもこやしを用意しておくことがよく大切にしなければならない。
百姓は、あとあとのことを考えないものだから、秋になって米がとれると、むやみに食べてしまう。いつも正月・二月・三月の作物がなくなるころの気持ちもち、食べ物大切にしなければならぬ。また、麦・あわ・ひえなどの雑穀をつくらせて食べ、米を多く食いつぶさないようにすることが大切だ。ききんのときのことを考えれば、あずき・ささげ・いもの葉などもむやみにすててしまうのは、もったいないことだ。
夫は田畑をたがやし、妻は機をおり、夜なべをするなど、夫婦ともども、精出して働かなければならぬ。たとえ、顔かたちのよい女房であっても、夫のことを大切にせず茶ばかり飲んでいたり、遊びの好きな者は、離縁してしまえ。
百姓は、麻や木綿でつくった衣類しか着てはいけない。
田畑が少なくくらしがたにくいは、子どもが多いときには、よその者にやったり奉公に出したりするほうがよい。
春や秋におきゅうをするなど、病気をしないように心がけなければいけない。どれだけ田畑の仕事に熱心であっても、病気になるれば、その年の収穫はだめになってしまう。そのため、家をたぶさすこともおこる。
たばこをすってはいけない。これは、腹のたしにならないだけでなく、けつきよくは体をこわすものになってしまう。それに時間をつぶしたり、お金がかかったり、火の用心が悪かったりするなど、すべて損の多いものである。
右のように、何事にも念を入れ、くらしをつつしめば、豊かになれる。そうすれば、衣も食も心のままに手に入らされるし、世の中がききんのときも、妻やめしつかいを、安心してやしなうことができる。百姓といふものは、年貢さえおさめてしまえば、こんなに安心なものはない。このことをよく考え、子々孫々まで伝えていくがよい。

〔問8〕「慶安の御触書」を読んで感じたことをかきましょう。



[Blank box for answer to Question 8]

〔問9〕「五人組」とは、どのようなしくみですか。

[Blank box for answer to Question 9]

〔問10〕農民は、新しい農具をつくり出したりして、^{しゅう}収かくを高める努力をしました。

下の絵は、新しくつくり出された農具ですが、何とといいますか。

ア 	イ 	ア イ
------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	--------

【鎖国】

○江戸幕府は、キリスト教が広まり、信者が幕府の命令をきかなくなることをおそれて、キリスト教を禁止しました。

〔問11〕キリストの像をふませて、信者がどうかを調べる方法を何とといいますか。

[Blank box for answer to Question 11]

○幕府が鎖国政策を進めていた1637年、^{しまばら}島原(長崎県)・^{あまくま}天草(熊本県)で3万人余りの農民が、一揆を起しました。

〔問12〕農民が一揆を起したのはなぜですか。理由を2つかきましょう。

[Blank box for answer to Question 12]

〔問13〕一揆の^{そう}総大将の名前をかきましょう。

[Blank box for answer to Question 13]

○1939年に、ポルトガル船の来航を禁止し、貿易する港も長崎だけとして、鎖国が完成しました。

〔問14〕鎖国後も日本に来て貿易をすることを許された2つの国はどこですか。

[Blank boxes for answer to Question 14]

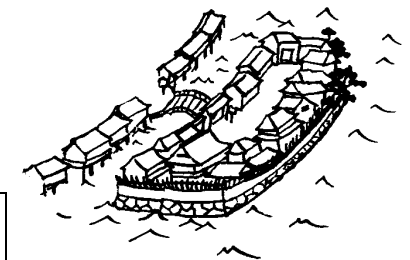
〔問15〕右の絵の、長崎に貿易のためにつくられたうめたて地を何とといいますか。また、そこに住んでいたのはどこの国の人ですか。

うめたて地の名前

住んでいた人の国名

[Blank box for answer to Question 15, part 1]

[Blank box for answer to Question 15, part 2]



えどばくふ 江戸幕府の成立 ①

学習日 月 日

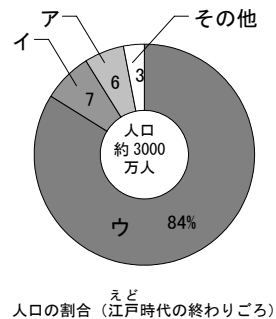
年 組 番 名前

1 江戸幕府の成立について、次のことがらを調べてまとめましょう。

【身分制度】

○ 江戸幕府は、武士（士）が農民（農）、町人（工・商）などの人々を支配する身分制度をつくり上げました。

〔問1〕右の円グラフのア・イ・ウに、武士・農民・町人のどれかをかきなさい。（その他は、公家・僧・神官、農民・町人とは別の身分とされた人など）



武士が他の身分の人々を支配していたことをもとに、身分

制度の問題点を考えさせたい。

ア	町人	イ	武士	ウ	農民
---	----	---	----	---	----

【大名のとりしまり】

○ 江戸幕府は、大名を親藩、譜代、外様に区別し、幕府にとって都合のよい地域に配置しました。

〔問2〕親藩、譜代、外様とはどのような大名か、かきましよう。

・親藩	徳川氏の親類の大名
・譜代	古くからの家臣
・外様	関ヶ原の戦いのあとで徳川氏に従った大名

〔問3〕幕府にとって都合がよい地域とは、どのように配置したのですか。

・親藩、譜代	江戸に近いところ、交通の重要な場所
・外様	江戸から遠いところ 大名の配置をもとに考えさせる。

○「武家諸法度」は、大名が守らなければならないきまりでした。

- 武家諸法度**
家康が、秀忠の名で一六一五年に公布した。家光はこの武家諸法度を修正して二一か条にした。

 - 一 諸大名は、学問と武芸をみかくことにつとめなければならない。
 - 一 おおぜいで酒を飲んだり遊んだりしてはならない。
 - 一 法令にそむいた者を国にかくしてはならない。
 - 一 自分の国に反逆人や殺人人がいたら、追い出さなければならない。
 - 一 自分の領地に他国の人を住まわせてはならない。
 - 一 城を修理するときでも届けなければならない。新築することはかたく禁止する。
 - 一 とんりの国で何か変わったことをしようと者がいたら届けなければならない。
 - 一 諸大名は、幕府の許可がないのにかつてに結婚のやくそくをしてはならない。
 - 一 参勤交代のとき、決められた以上の家来をつれてきてはならない。
 - 一 服そうやかざりものは、身分の上下のちがいをまぢがえないようにすること。
 - 一 身分の低い者がかつてにかつてに乗ってはならない。
 - 一 武士たちは、けんやくにつとめなければならない。
 - 一 諸大名は能力のある者を用いてよい政治を行わなくてはならない。

〔問4〕「武家諸法度」を読んで感じたことをかきましよう。

守らなければならないきまりの厳しさを感じ取らせたい。

守らなかった多くの大名がとりつぶされたことにも触れる。

○参勤交代について、次の問いに答えなさい。

〔問5〕参勤交代とはどのような制度ですか。

大名の妻子を人質として江戸に住ませ、大名を江戸と国元（領地）で1年おきに生活させるようにしたこと。

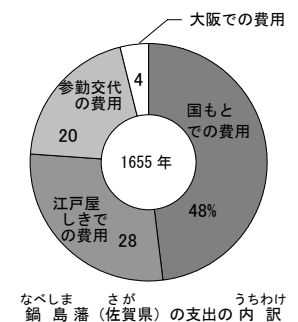
〔問6〕「入り鉄砲に出女」ということばがありますが、どういう意味ですか。

江戸に住ませた大名の妻子が国へ逃げて帰らないよう、また鉄砲（武器）が江戸に入らないよう、関所を設けてとりしまった。

〔問7〕参勤交代が、幕府にとって好都合だったのは

どうしてですか。「入り鉄砲に出女」のことばや、右のグラフなどをもとにかきましよう。

- ・大名行列に多くの費用がかかった。
- ・江戸で生活するための費用がかかった。藩の経済力が下がった。
- ・妻子を人質にとられているので反抗できない。



えどばくふ
江戸幕府の成立 ②

学習日 月 日

年 組 番 名前

【農民のとりしまり】

○「慶安の御触書」で農民のきまりを決めて、生活をきびしく制限しました。

慶安の御触書

幕府から出されたきまりや、地頭（領主）・代官のいつつけを正しく守ること。また、名主や組頭を親のように考えて、そのいつつけを守ったり、相談をしたりしなければならぬ。
田畑の耕作に精出し、苗を植える準備も苗の植え方も念を入れて行い、また田畑に草がはえないように気をつけなければならぬ。たびたび草をとったりすれば、作物はたくさんとれるものがある。
朝は早く起きて車をかゝる。昼は田畑の耕作にはげみ、晩になわをなったり、たわらあんだりするというように、一日中、気をつけて働かなければいけない。
酒や米を店から買って飲むようなことをしてはいけない。妻や子についても同じである。
屋敷のまわりに竹や木を植え、下葉なりとも取り、まきを店から買ったりしないようにしなければならない。
百姓は、いつもこやしを用意しておくことがよく大切にしなければならない。
百姓は、あとあとのことを考えないものだから、秋になって米がとれると、むやみに食べてしまう。いつも正月・二月・三月の作物がなくなるころの気持ちはもち、食べ物大切にしなければならぬ。また、妻・あわ・ひえなどの雑穀をつくらず、米を多く食いつぶさないようにすることが大切だ。ききんのときのことを考えれば、あずき・ささげ・いもの葉などもむやみにすててしまうのは、もったいないことだ。
夫は田畑をたがやし、妻は機をおり、夜なべをするなど、夫婦ともども、精出して働かなければならぬ。たとえ、顔かたちのよい女房であっても、夫のことを大切にせず茶ばかり飲んでいたり、遊びの好きな者は、離縁してしまえ。
百姓は、麻や木綿でつくった衣類、か着てはいけない。
田畑が少なくくらしがたにくいは、子どもが多いときには、よその者にやったり奉公に出したりするほうがよい。
春や秋におきゅうをするなど、病気をしないように心がけなければいけない。どれだけ田畑の仕事に熱心であっても、病気がなれば、その年の収穫はだめになってしまう。そのため、家をつぶすこともおこる。
たばこをすってはいけない。これは、腹のたしにならないだけでなく、けつきよくは体をこわすものになってしまう。それに時間をつぶしたり、お金がかかったり、火の用心が悪かったりするなど、すべて損の多いものである。
右のように、何事にも念を入れ、くらしをつつしめば、豊かになれる。そうすれば、衣も食も心のままに手に入らるし、世の中がききんのときも、妻やめしつかいを、安心してやしなうことができる。百姓といものは、年貢さえおさめてしまえば、こんなに安心なものはない。このことをよく考え、子々孫々まで伝えていこう。

〔問8〕「慶安の御触書」を読んで感じたことをかきましょう。



生活の細かなところまで厳しくきまりが決められていることに気づかせたい。

〔問9〕「五人組」とは、どのようなしくみですか。

年貢を納めない者や、罪をおかす者が出ると共同で責任を負う。

〔問10〕農民は、新しい農具をつくり出したりして、収かくを高める努力をしました。

下の絵は、新しくつくり出された農具ですが、何とといいますか。

<p>ア</p>  <p>刃が折られているので、深く耕すことができる。</p>	<p>イ</p>  <p>一度に大量の稲の穂を取るることができる。</p>	<p>ア 備中ぐわ</p> <p>イ 千歯こき</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------

【鎖国】

○江戸幕府は、キリスト教が広まり、信者が幕府の命令をきかなくなることをおそれて、キリスト教を禁止しました。

〔問11〕キリストの像をふませて、信者がどうかを調べる方法を何とといいますか。

ふみ絵（または絵ふみ）

○幕府が鎖国政策を進めていた1637年、島原（長崎県）・天草（熊本県）で3万人余りの農民が、一揆を起こしました。

〔問12〕農民が一揆を起こしたのはなぜですか。理由を2つかきましょう。

重い年貢を課せられていた。キリスト教の厳しいとりしまり。

〔問13〕一揆の総大将の名前をかきましょう。

天草（益田）四朗時貞

○1939年に、ポルトガル船の来航を禁止し、貿易する港も長崎だけとして、鎖国が完成しました。

〔問14〕鎖国後も日本に来て貿易をすることを許された2つの国はどこですか。

オランダ

中国

〔問16〕右の絵の、長崎に貿易のためにつくられたうめたて地を何とといいますか。また、そこに住んでいたのはどこの国の人ですか。

うめたて地の名前

住んでいた人の国名

出島

オランダ

オランダ人は出島の中で不自由なくらしをしていた。

